

ぼら組 人間関係

子どもは、保育所の生活において多くの他の子どもや保育士等と触れ合う中で、自分の感情や意志を表現しながら、自己の存在感や他の人々と共に活動する楽しさを味わい、時には子ども同士の自己主張のぶつかり合いによる葛藤などを通して互いに理解し合う体験や、考えを出し合ってよりよいものになるよう工夫したり、一緒に活動したりする楽しさを味わう体験を重ねながら関わりを深め、共感や思いやりなどをもつようになる。

さらに、このような生活の中で、よいことや悪いことに気付き、考えながら行動したり、きまりの大切さに気付き、守ろうとしたりするなど、生活のために必要な習慣や態度を身に付けていくことが、人と関わる力を育てることになるのである。【保育所保育指針 人間関係より】

☆遊びの中で☆

初めは個々の好きな遊びを楽しんだり、近くにいる友だちや気の合う友だち数人で遊ぶ姿が多く見られましたが、次第に集団が大きくなっていき、クラス全体で楽しむ姿が多く見られるようになりました。クラス全体が楽しめるように自分たちでルールを設けてみたり、遊びを展開させていたり、段々と複雑なルールのある遊びも楽しめるようになってきました。

時には意見がぶつかり合い、いざこざになることもありますが、少しずつ子どもたち同士で解決できることも出てきました。衝突も経験し合った仲間だからこそ芽生える絆が見られてきました☆



植物を使ってお店屋さんごっこ♪



鬼ごっこの鬼決め中!



フラフープの色を使って色鬼～



☆異年齢との関わり☆

幼児クラスの一番小さいクラスから一つ大きくなり、今度は自分たちが今までお世話してもらったことを下の子どもたちにもしてあげる番！とたくさんお世話をしてくれました。遊びの中や生活の中で自分たちがお兄さんお姉さんにしてもらって嬉しかったことを自然としてあげている姿が多く見られました。後期では、来年度やり組になる子どもたちとの活動も増えていき、年長児になるにあたりどんな手伝いをしてあげたら良いか、お手本になるような関わり、活動を意識し一緒に遊ぶ姿も見られました。子どもたちの自然な関わりの中で、このような優しさの輪が広がっていきますね♪

お部屋に戻るお手伝い♪

捕まえた虫を一緒に観察！

☆行事に向けて☆

今年度は特に行事に向けての取り組み方に変化が見られました。大人が決めたことを行うのではなく、自分たちがやりたいこと、見せたいことを自分たちで考え話し合い、決めていく様子が多く見られました。話し合いを重ねるうち、自分の意見をしっかりと相手に伝えたり、もっと良くしていくにはどうしたら良いか、うまく考えられるようになっていきました。そして、自分たちで決めたことは責任を持ち、今まで以上に意欲的に取り組むことができていました。

発表会の劇話し合い

話し合い後に気合入れ！

生活は

続いていく。。。